

- ▶ 本市は、名古屋市近郊にあり森林面積が少なく、愛知用水等を通じて水が供給されており、水源地の森林の恩恵を大きく受けています。森林環境譲与税を活用し、水源地にあたる長野県の桧材を使用することで、水源地の森林整備、木材利用を促進しております。
- ▶ 子供たちに木材のぬくもりを感じてもらいたいとの考えから、市内小学校1校で長野県産桧材を使用し制作された下駄箱の更新を行いました。子供たちに木の温かみを感じてもらおうと共に、環境保全教育の一環となりました。

## □ 事業内容

### 小学校下駄箱の更新事業

- ・ 長野県木祖村にある木祖産業協同組合から、長野県産桧材を使用して制作した下駄箱（540人分）を購入し、市内小学校1校の下駄箱を更新しました。

【事業費】4,520千円（うち譲与税4,330千円）

【実績】木材使用量3m<sup>3</sup>



（更新した様子）

## □ 基礎データ

①令和元年度譲与額	4,330千円
②私有林人工林面積（※1）	4.15ha
③林野率（※2）	1.957%
④人口（※3）	111,944人
⑤林業就業者数（※4）	3人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より